

7

給与支払報告書（個人別明細書）

※種別												※整理番号											
※区分												(受給者番号) abcde123											
住所 鳥取県境港市上道町3000番地												(個人番号) 123456789123											
												(役職名)											
氏名 (フリガナ) サカイミナト タロウ																							
名 境港 太郎																							
種別				支払金額				給与所得控除後の金額 (調整控除後)				所得控除の額の合計額				源泉徴収税額							
給料・賞与				14,400,000				12,300,000				3,599,930				1,092,400							
(源泉)控除対象配偶者の有無等		配偶者(特別)控除の額		控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く。)				16歳未満扶養親族の数		障害者の数 (本人を除く。)		非居住者である親族の数											
有 従有				特 定		老 人		其 他		特 別		其 他											
1										1		1											
社会保険料等の金額				生命保険料の控除額				地震保険料の控除額				住宅借入金等特別控除の額											
1,569,920				120,000				50,000				205,000											
(摘要) 源泉徴収時所得税控除済額90,000円、控除外額0円 非控除対象配偶者減税有 境港花子(同配)																							
生命保険料の金額の内訳		新生命保険料の金額		180,000		旧生命保険料の金額		100,000		介護医療保険料の金額		90,000		新借入金等特別控除の金額		360,000		旧借入金等特別控除の金額		180,000			
住宅借入金等特別控除の内訳		住宅借入金等特別控除適用数		2		居住開始年月日 (1回目)		30 年 11 月 11 日		住宅借入金等特別控除区分(1回目)		住(特)		住宅借入金等年末残高(1回目)		11,500,000							
		住宅借入金等特別控除可能額				居住開始年月日 (2回目)		3 年 8 月 2 日		住宅借入金等特別控除区分(2回目)		住(特)		住宅借入金等年末残高(2回目)		9,000,000							
源泉特別控除対象配偶者		(フリガナ) 氏名		サカイミナト イチロウ		区分				配偶者の合計所得				旧年金保険料等の金額		176,460		旧長期障害保険料の金額		19,600			
		個人番号												基礎控除の額				所得金額		150,000			
控除対象扶養親族		(フリガナ) 氏名		境港 一郎		区分				(フリガナ) 氏名		区分						5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号					
		個人番号										個人番号											
		(フリガナ) 氏名				区分				(フリガナ) 氏名		区分											
		個人番号										個人番号											
		(フリガナ) 氏名				区分				(フリガナ) 氏名		区分											
		個人番号										個人番号											
		(フリガナ) 氏名				区分				(フリガナ) 氏名		区分											
		個人番号										個人番号											
未成年者		外国人		死亡退職		乙欄		本人が障害者(特別)その他		寡婦		ひとり親		勤労学生		中途就・退職		受給者生年月日		元号 年 月 日			
																		昭和 44 年 1 月 1 日					
支払者		個人番号又は法人番号		8000020312045																			
		住所(居所)又は所在地		鳥取県境港市上道町3000																			
		氏名又は名称		境港市長 伊達 憲太郎																(電話) 0859-44-2111			

(摘要)に前職分の加算額、支払者等を記入してください。

【年末調整済の源泉徴収票の場合】

令和6年分所得税の定額減税に関する事項は次のように記載して下さい。

〈実際に控除した年調税額〉

⇒源泉徴収時所得税額控除済額 〇〇〇円

〈年調税額のうち年調所得税額から控除しきれなかった金額〉

⇒控除外額 〇〇〇円

※控除しきれなかった金額がない場合は「控除外額0円」

〈合計所得金額が1,000万円越の方で、同一生計配偶者を年調減税額の計算に含めた場合〉

⇒非控除対象配偶者減税有

※同一生計配偶者が障害者、特別障害者又は同居特別障害者に該当する場合、「減税有」の追記で差し支えありません。

【年末調整を行っていない源泉徴収票の場合】

令和6年分所得税の定額減税に関する事項の記載は不要です。

所得税の定額減税に関する事項の記載例

※摘要欄への記載に当たっては、定額減税に関する事項を最初に記載するなど、書ききれないことがないように留意してください。

(市区長村提出用)